

事務事業名	意欲ある農業者支援事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	26	終了		
H27担当課等名	農業課		H27係等名	農村振興係		H26係等名	農村振興係						
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化										
目的	対象(誰・何を)	市内農業者(認定農業者、新規就農者等)						指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	新規就農と新たな経営にチャレンジしてもらい、経営を拡大・安定してもらう						農業就業人口(人)※H17センサス:6,370人 H22センサス:4,577人		4577			
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円						認定農業者数		209			
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	あぐりチャレンジ農業資金新規融資斡旋件数(件)						-	17	20	20		
	成果指標	農業資金利用計画認定件数(融資件数)(件)						-	5	5	5		
	定性目標												
事業概要	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金融資事業 農業者のステップアップを目的とし、低利で柔軟な資金として貸付対象者を新規就農と6次産業化等を促進する農業者と認定農業者地域の担い手を育成すると共に、新たな経営展開による地域農業の活性化を目指す。 貸付限度:500万円(H22年度までは個人200万円・団体300万円) 融資利率:貸付開始5年間は無利子、6年目以降は日本政策金融公庫資金の最低利率 返済期間:10年以内(H22年度までは5年間) 年度当初に「JAみなみ信州」へ拠出金を預託する。(1,500万円) 年度末に「JAみなみ信州」から拠出金が返還される。</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業 認定農業者が安定した経営と更なる事業展開を図るために、認定農業者自らが作成する「農業経営改善計画」の実現に向けた取り組みを資金面から支援。低利な資金斡旋と利子助成。資金利用計画の認定をうけた農業者に対し、「農業経営基盤強化資金」又は、「農業近代化資金」の融資利子の一部を助成する。 ※H26～あぐりチャレンジ農業資金融資事業と認定農業者育成資金利子助成事業を統合</p>												
	事業内容						名称			活動指標			
26年度事業内容	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金 (1)融資の対応 融資希望者を農協で受付し、審査実施後の案件について調整し、決裁後融資実施依頼をする。 (2)市単独農業資金預託金 市3,000万円 JA3,000万円 計6,000万円 2倍運用で12,000まで融資可能</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業 (1)農業資金利用計画認定、融資照会に対する対応 (2)既存融資に対する利子補給事務(年2回) ア 農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子助成 イ 認定農業者育成推進資金(近代化資金)利子補給 (3)自然災害等に伴緊急対策</p>						<p>1 新規融資あつせん件数 2 農業資金利用計画認定件数 スーパーL資金 近代化資金</p>			<p>1 18件 2 3件 2件</p>			
	事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		0	32,475	17,439	31,911	(県)農業経営基盤強化資金利子助成補助金(6/10、1/2) (そ)あぐりチャレンジ農業資金貸付預託金回収金							
国庫支出金													
県支出金			1,349	1,347	1,046								
起債													
その他			30,000	15,000	30,000								
一般財源			1,126	1,092	865								
人件費計(千円)②		0		2,503									
正規職員所要時間				700									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		0	32,475	19,942	31,911								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>あぐりチャレンジ農業資金は、対象農家の要件拡大や酪農の経営安定化のための貸付等を実行したため、融資相談件数・貸付実績ともに増加した。認定農業者育成利子助成事業は、融資件数5件ですべてが利子助成又は利子補給の対象である。今後もさらに金融機関との連携を深め、地域の担い手を育成するとともに新たな経営展開による地域農業の活性化を目指す。</p>												
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> 市内の農家や認定農業者数が高齢化等の理由により減少傾向にある。 借入をしてまで規模拡大を図ることが厳しい農業経営状況となっている。 											
	②改革提案	<p>農業経営改善には農業設備の投資とそれに対する行政の支援は不可欠である。政策変更の可能性もあり、引き続き金融機関と連携し、融資以外の支援も含めて多面的に支援していく必要がある。</p>											